

マーケットの動き（2025年12月8日～12月12日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。週前半は、日本の財政悪化への懸念や米長期金利の上昇を背景に、円売り・米ドル買いが優勢となりました。その後、FOMC（米連邦公開市場委員会）で0.25%の利下げと米国財務省短期証券の買い入れ発表により、米ドル安が進行しましたが、週末にかけては米長期金利が再上昇したことを受け、米ドル買いが再び優勢となりました。ユーロは前週末比、対円・対米ドルで上昇しました。

投資環境見通し（2025年12月）

円安の動きとなるも、米ドル、ユーロの円に対する上値はともに限定的

米ドル：日本におけるインフレ下での高圧経済政策の将来的な影響が懸念され、当面は円安ドル高の動きが意識されます。ただし、日銀による利上げ姿勢に加えて、為替レートの動向と水準次第では日米通貨当局が警戒感を強める可能性もあることから、その後のドルの円に対する上値は限定的とみています。

ユーロ：日本におけるインフレ下での高圧経済政策の将来的な影響が懸念され、当面は円安ユーロ高の動きが意識されます。さらに域内各国の財政出動が今後本格化し景気を支えるとの見方もユーロ高要因とみられますが、日銀の利上げ姿勢もあり、その後のユーロの円に対する上値は限定的とみています。

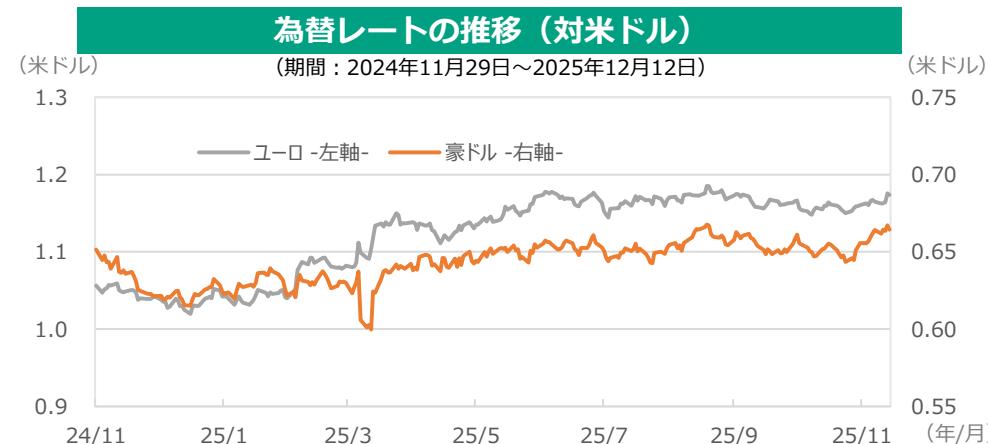
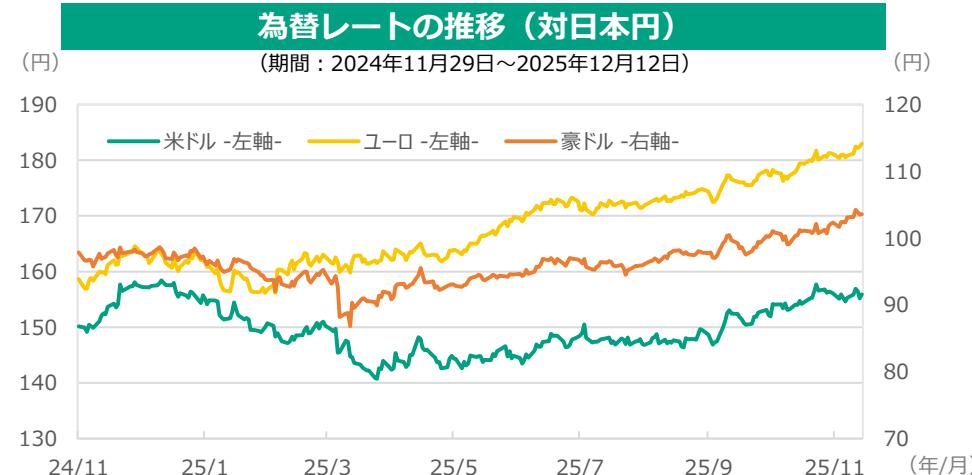
	12月12日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	155.89	0.61	1.14	12.13	3.57
ユーロ/円	182.99	2.13	3.56	16.48	23.46

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202512_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成